

JIM-NET 便り

2020年10月12日

コロナに負けず、
チョコ募金を今年も行います。



鎌田 實 (JIM-NET 代表)

款で提供します。日本によるイラク戦争後の支援としては最大級だと言われています。イラクの石油埋蔵量は世界の5本の指に入ります。アメリカとイランの関係で、ここ1、2年、イランから安定して石油が来なくなっていました。日本のエネルギーにとって、イラクの石油はとても大切なものになってきました。

JIM-NET がこの16年、がん・白血病の子どもや難民キャンプの子どもの命を救ってきたことは、イラクのテレビや新聞でも何度も取り上げられ、大きな評価を得てきました。日本のエネルギー問題のセーフティーネットに、イラクが浮上しています。今まで以上に平和を守ることと、日本とイラクの良い関係をさらに築いていくために、厚い支援が必要です。

今年もチョコ募金を行います。とても可愛いデザインで、いま準備が始まっています。全部イラクとシリアの白血病の子どもたちが描いてくれた絵です。この募金でイラクの4つの小児病院に薬を送ることができます。また、難民キャンプの妊産婦にエコー検診を行ったり、粉ミルクやおむつの配布も行うことができます。

そして、アルビルにできた小児がん総合支援施設「JIM-NET ハウス」で、学校の先生が教育支援をしてくれたり、貧困患者さんの支援をしたり、このチョコ募金が JIM-NET がやっている温かな活動の支えになっております。

4年ほど継続的に支援をしてきた、心臓に穴が空いているシドラちゃんの手術費用も、今年のチョコ募金の一部から充てることができました。

また、福島支援をしている「福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト」などの8つの団体・NPOに助成を行うことができました。

今年もイラク支援・シリア難民支援・福島支援のため、ぜひ、温かな応援をお願いします。



チョコ募金のおかげで心臓の穴をふさぐ手術に成功したシドラちゃん（中央）とお母さん（左）。

コロナとの闘いが、日本でもイラクでも長期戦になってきました。

クラウドファンディングを今年の夏に行いましたが、140万円の予定が280万円を超えて集まりました。厚いご支援をありがとうございます。これで、難民キャンプに建っている診療所や、JIM-NET が支援してきている白血病の専門病院などにガウンや消毒液、手袋、サージカルマスクを送ることができました。

世界がこんな状況で、支援の先細りが心配です。中東は「世界の火薬庫」と言われ、どこかで平和の均衡が崩れると、戦争が始まる可能性があります。少なくとも、平和を目指している国がひとつでもあることが、中東全体の安定を増加させるために大事です。今まで以上に支援が必要だと思います。

日本独自の問題もあります。今年の夏、日本のある企業がイラク最大級の製油所の設備復興を4千億円で受注しました。資金は国際協力機構（JICA）が、円借

チョコ募金のお申し込み方法は
同封のちらし又は裏表紙をご覧ください！



CHOCOLATE for PEACE!

～チョコ缶の絵を描いてくれた少女たちの物語～



皆さまの温かいご支援のお陰で、今年も16回目のチョコ募金を迎えることができました。

新型コロナウイルスの影響で、例年とは全く異なる状況の中でのチョコ募金準備となり、一時はどうなることかと思いましたが、知恵を出し合い、できることを一つずつスタッフ全員で進め、今年は実施数を10万個で受付スタートいたします。

今回は、4人の女の子がイラク、シリアの自然や動

物を描いてくれ、可愛い缶が出来上がりました。その缶に、毎年ご協力をいただいている六花亭様が、美味しいチョコレート缶に詰めてくださっています。

世界中が大変な状況ですが、可愛い絵と美味しいチョコレートで、イラク、シリア、福島の子どもたちへの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

エリー（6歳）

シリア北部ラース・アル＝アイン出身のエリー。貧しいながらも幸せな日々をシリアで送っていたエリーと家族。しかし2018年、シリアで白血病の診断を受けると、イラク国内での治療が必要とされ、家族でイラクのアルビルに暮らすこととなりました。

お父さんはいくつもの仕事を掛け持ちしながら家族を支えており、物価の高いイラクでなんとか生活しています。さらに感染症の心配があるため、エリーは通院以外では外に出ることができず、ストレスを感じています。

2020年初め、エリーは骨髄移植を受けることが

できました。しかし、2週間おきに病院に通い血液検査を受ける必要があり、まだ経過観察が続いています。

今年、エリーの健康状態に問題がなければ、「家族でシリアに帰り、以前の生活を取り戻したい」と、彼女のお父さんは語っていました。



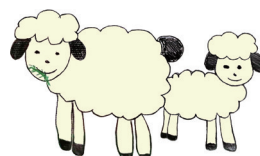
ザイナブ（16歳）

イラク・キルクーク市出身のザイナブは、地元の学校に通い、お母さんのお手伝いをし、手芸が好きな普通の女の子でした。しかし、2019年秋に脚に痛みを覚え、病院で検査を受けます。最初はリウマチとの診断を受け、薬をもらいましたが、痛みがひかないことから再度検査を受けると、白血病と診断を受けました。

JIM-NETハウスにも何度か家族と泊まっていたザイナブ。リサイクルしたもので作る得意の手工芸品を見せてくれて、スタッフを驚かせていました。

毎日の治療や、抗がん剤の副作用で髪が抜け落ちた

こと、コロナ禍で外出ができなくなったことに疲れてしまっています。現在は家に籠りがちになり、寝てスマホを触るだけの毎日を送っています。



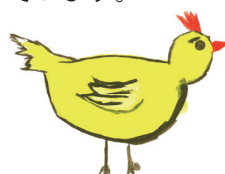


シャグール (15 歳)

イラク・アルビル県シャウエス出身のシャグール。2018 年、皮膚の色が黄色くなっていることに気づき、病院で検査を受けたところ、2019 年初めに白血病と診断されました。現在も病院で治療を受けながら、自宅で療養しています。

絵を描くことが大好きなシャグール。彼女は病院に来る際、いつも JIM-NET ハウスに立ち寄ってくれ、院内学級やアクティビティに参加してくれます。彼女は、治療を開始してから、学校に通っていません。

また、日雇い労働者として働いていたお父さんも新型コロナウイルスによる仕事の激減、さらには脳卒中で倒れてしまい、家族の経済状況も悪くなっています。



ディルガシュ (12 歳)

イラク・アルビル県出身のディルガシュは、学校でも成績優秀な女の子でした。

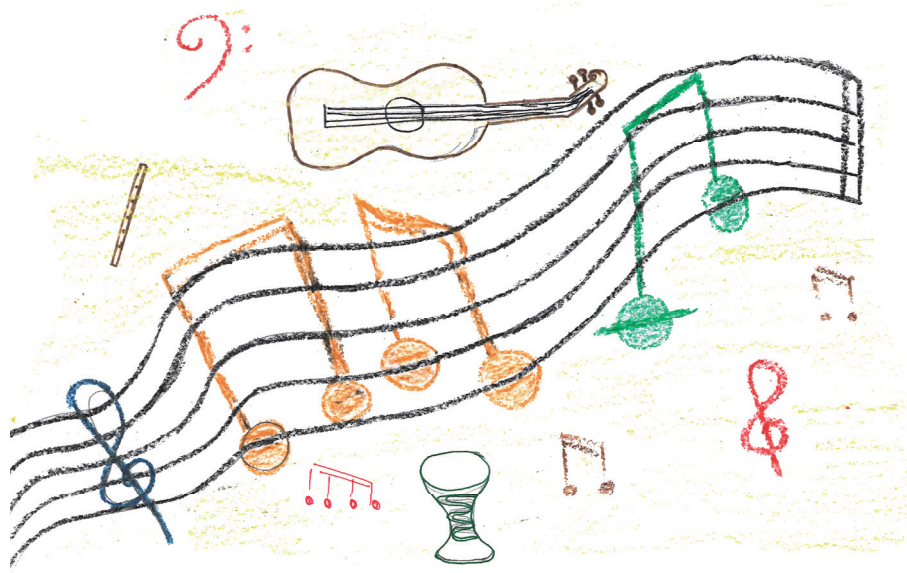
2019 年、突然体調が悪くなり学校も休みがちになりました。歯にも痛みを覚えたことでお父さんが病院に連れて行き、そこでいくつかの検査を受け、白血病の診断を受けました。

ディルガシュの家が遠かったことから、彼女の入院中、家族は JIM-NET ハウスに泊まりながら看病を続けていました。その際、JIM-NET のアクティビティにも参加してくれ、多くの絵を描いてくれました。この青い花にティアラが描かれている絵は、その時のひとつです。

「女の子はお花のようで、お姫様なんだよ。だからお花にティアラをかぶらせてあげたんだ」と、この絵を描いた時に話してくれました。

絵を描くことや、スマホのゲームで遊ぶことが大好きだったディルガシュ。

しかし、白血病に打ち勝つことができず、2020 年 9 月 3 日、天国へと旅立っていきました。





JIM-NET はこんな活動をしています



▶イラク小児がん支援

新型コロナウイルスの影響で、支援先であるアルビル、バグダード、バスラ各地では都市封鎖が行われ、スタッフが病院に行けない時期もありました。しかし、支援に空白が出来ないように、各地の現地スタッフとの連携を強化し、現地当局から特別に許可をもらうなどで対応してきました。JIM-NET 現地スタッフは感染症対策を徹底し、各病院での支援医薬品支援は滞りなく実施することができています。また、コロナ禍では、抗がん剤やそれに伴う医薬品支援だけでなく、マスクやアルコールなどの PPE（個人防護具）の不足を避ける必要があり、今年度はクラウドファン

ディングで各地への PPE 支援を行ないました。

JIM-NET ハウスは、新型コロナウイルスによる影響で利用人数は減少していますが、ボランティア教員が病室にて個別の学習対応をしています。



▶シリア難民支援

新型コロナウイルスの影響で、ダラシャクラン難民キャンプ内では、ワークショップ等の人が集まる活動が制限され、また外からの入域制限が行われた期間もありました。現地スタッフとの協議で、実施できなかったワークショップのための資金を粉ミルク代に充てるなど現状に合わせた支援へと切り替えて対応しています。

今年度予定しているバルダラシュ難民キャンプへの支援は、新型コロナウイルスの影響による移動制限に伴い、移動制限解除後の実施を予定しています。

シリア国内支援については、国境の越境許可を取得し、

9 月中に実施を予定しています。シリア国内でも新型コロナウイルスの感染が拡大していますが、難民キャンプでは医薬品不足が極めて深刻です。現地パートナー団体と連携を取りながら、支援実施に向けて調整を行っています。



▶福島支援

今年度も、保養などを行う支援先を公募しております。新型コロナウイルスの影響で、支援先の活動ができない可能性があるため、状況を確認しながら支援を行ってまいります。

昨年度は、チョコ募金で 82,083,907 円のご寄付が集まりました。皆さまから頂いたご寄付は、イラクの小児がん支援、シリア難民支援、福島の子どもたちを放射能から守る活動に、大切にに使わせていただいております。皆さまの温かなご支援に、心から感謝申し上げます。

♥チョコ募金 11月16日(月)から受付スタート!

お申し込み先:

電話: 03-6908-8473 (平日 10 時~16 時)

ホームページ: <http://jim-net.org>

※1 セット (4 缶入り) 2,200 円からお申込みいただけます。

※配送手数料は、別途ご負担をお願いしております。

♥限定 10 万個! お申込みはお早めに! ♥

戦後 75 周年記念・チョコ募金キックオフチャリティートークイベント JUST PEACE! ☆初めて YOUTUBE 配信いたします☆

日時: 2020 年 11 月 6 日 (金) 19:00~

出演者: サヘル・ローズ(女優)、鶴田能史(tenbo 代表 ファッションデザイナー)、湯川れい子(音楽評論家)、斉藤とも子(女優)、堀江明子(ピアニスト)、鎌田實(JIM-NET 代表理事)

※当初は南大塚ホールでのイベント開催を企画しておりましたが、都内に於ける新型コロナウイルスの広がりに伴い、大事をとって無観客での YOUTUBE 配信にチャレンジすることにいたしました。ライブをご自宅で視聴いただけます。どうぞお楽しみに!

(インターネットでの視聴が難しい方には、後日 DVD をお送りいたします。)

★詳細はイベントチラシ、HP、SNS 等でご確認ください!



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4 丁目 4 番 11 号 内藤ビル 2 C

電話 03-6228-0746 メール info-jim@jim-net.net 募金・サポーター会費はこちらへ→
Facebook、Twitter、Instagram もぜひご覧ください。

『JIM-NET』で検索!

